

## 東大阪中央ロータリークラブ

創 立 昭和47年2月20日  
例 会 日 毎週月曜日 12:30~  
例 会 場 所 シェラトン都ホテル大阪  
事 務 所 大阪市天王寺区筆ヶ崎町5-38  
〒543-0027 ロイヤルパークス桃坂1112号  
TEL. 06 (6772) 2320  
FAX. 06 (6772) 2327  
E-mail: hcrc@at.wakwak.com



会 長 切 石 博 之  
会 長 工 レ クト 浅 野 光 男  
副 会 長 宮 崎 康 治  
幹 事 細 川 勝 治  
会 報 委 員 長 岡 田 忠 彦

## BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS

### 地域を育み大陸をつなぐ

2010~2011年度 国際ロータリー会長 レイ・クリンギンスミス

第 1800 例会 平成 23 年 3 月 7 日 (月曜日) 第 29 号

#### 本日の例会

3月7日(月)第1例会

- ◎ソング 「君が代」「限りなき道ロータリー」  
◎卓 話 「非行を通して 子育てを考える」  
ゲストスピーカー 元大阪保護観察所長  
臨床心理士 廣田玉枝様  
(担当:鈴木勝俊会員)  
◎本日の献立 松花堂弁当

#### 次回の例会

3月14日(月)第2例会

- ◎卓 話 「西武百貨店八尾店 30周年のあゆみ」  
ゲストスピーカー 西武百貨店八尾店  
外商部長 松岡康寛様  
(担当:坪倉修吉会員)  
◎本日の献立 フランス料理

#### 前回の例会記録

2月28日(月)第4例会

- ◎ビジター 奈良RC 宮崎彰夫氏 他2名

#### 会長挨拶

会長 切石博之

アメリカの小説家でスタインバックという人がいますが、彼は大学中退後、別荘番や記者などの職を転々としつつ、社会的視野の広い小説を書きました。代表作に「怒りの葡萄」があります。1940年にヘンリー・フォンドの主演で映画にもなり、アカデミー賞も獲得したので御存じの方も多いと思います。その小説に次のような事が書かれています。

当時のアメリカは貧富の差が激しく、主人公トムの家族がオクラホマの土地を売り、カリフォルニアへ夢を求めて行くのですが、カリフォルニアも同じように厳しい環境であり、元気で明るい肝っ玉かあさんの母親マアが息子のトムに語っているのです。

辛抱しなきゃいけないよ。だって、トム……あたしたち(貧しいもの)は、みんながいなくなっても生きつづける人間なんだから。だって、トムや、あたしたちは生きつづけるのだから。奴ら(金持ち)が、あたしたちを根たやしできるもんかね。だって、あたしたちは人間なもの……生きつづけるんだもの。……金持は出世して死に絶えるのさ。だけど、あたしたちはね、トム、あとからあとから生れてくるんだよ。ちっともこわがることはないよ。トム、世の中は変りかけているんだからね。

多くの民衆の根底にはこのひらき直りの強さがあると思います。虐げられ、苦しめられても生きてゆく強さを感じます。今、チュニジア・エジプト・リビア等の変化もこのような民衆の思いが発露となって起きているでしょう。一時期安定していた世界が、どのような変化をしてどこへ進もうとしているのか、見えている事実と真実を見間違えないようにしたいと思います。

#### 幹事報告

幹事 細川勝治

1. 次週3月7日(月)例会終了後、第9回定例理事・役員会を5階カトレアの間で開催いたします。理事・役員各位にはよろしくお願ひ致します。

2. 次週3月7日(月)は例会場が3階「葛城の間」に変更になりますので、お間違いのないようによろしくお願い致します。
3. ニュージーランドで発生しました大地震の義援金を募集致します。募金箱を回しますのご協力の程よろしくよろしくお願い致します。

## 出席報告

和田委員

本日の会員数	39名
本日の出席者数	27名
本日の出席規定適用免除会員	12名
本日の出席率	77.14%
2月12日の修正出席率	71.88%

## SAAニコニコ箱報告

岡本副SAA

切石会長 湯谷会員、百済会員、岩崎会員、お疲れ様でした。

百済会員 湯谷会員、岩崎会員の3人、ミャンマーモンパリン小・中学校へ¥200,000 贈呈してきました。ありがとうございました。

## 卓話

### 「アルコール四方山話」

出原 正秀

酒は百薬の長といわれますように、人生にとって、ある意味、潤いをもたらす、すばらしい存在であると思います。人と人のコミュニケーションをはかる上でも大いに役立ちますし、健康増進にも有用であるといわれています。しかし、これらはアルコールを適量にのんだ場合であって、量を過しますと脂肪肝、肝硬変、或いはまたアルコール依存症等をひき起こす原因となり得るわけでありませぬ。

それでは、お酒の適量とはどの程度のことを言うのかといいますと、一般にはアルコールに換算しまして、20gぐらいが適当ではないかといわれています。具体的に言いますと、ビールでは中瓶1本、日本酒では1合、ウイスキーではダブル1杯、ワインではグラス2杯ぐらいが適当な量だといわれています。しかし宴会ともなりますと、とてもこの量ではおさまりません。

次に、アルコールの吸収と分解についてであります。口から摂取したアルコールは、胃でその20%が吸収され、残りの80%は小腸上部で、1~2時間以内に吸収されます。吸収されたアルコールは肝臓で、アルコール脱水素酵素により分解され、アセトアルデヒドとなり、更に酢酸に分解された後、最終的には水と炭酸ガスとなります。このアセトアルデヒドという存在は厄介なものでありまして、二日酔いの原因物質であることがわかっておりま

すし、フラッシング症状といわれる、顔の発赤、動悸、むかつき等を起します。このフラッシング症状は、人種差や個人差があり、日本人をはじめアジア人では50~80%に認められますが、アメリカの白人等では殆ど見られず、お酒を飲んでも顔が赤くならないといわれます。白人では、アセトアルデヒドの分解酵素が活性型であるため、飲酒してもアセトアルデヒドが血中にたまらないのがその原因であるといわれています。

次にアルコールの分解速度についてであります。これは体重に比例するようでありまして、体重(kg)の1割の数字にmlをつけた量が1時間に分解されるアルコール量となります。例えば体重70kgの人では、体重の10分の1の、7kgの数字にmlをつけ、7mlが1時間に分解されるアルコールの量になります。

ビールの大瓶633mlを飲んだ場合、アルコール濃度を5%として、大瓶1本中のアルコールは、32ml弱であります。これを体重70kgの人が飲んだとしますと、 $32 \div 7 = 4.6$ となり、アルコールが体内から消えるまで、4時間半余りかかる計算になります。2本飲めば9.2時間かかることになります。ゴルフ等で朝早く車を運転する場合は、前夜のアルコールは、朝の出発時間から逆算して、早めに切り上げる必要があります。そうでないと、朝検問にひっかかって酒気帯びにされると大変です。

### ○未成年者の飲酒

最近未成年者の飲酒が増えてきております。アルコールの自動販売機に時間制限を設ける等の対策はとられているものの、有効な手段はみつかっていない。未成年者の飲酒の最大の問題は、急性アルコール中毒であります。急性アルコール中毒で救急車を要請する患者の年令別頻度をみますと、20代が40%、10代が20%と殆どが若者で占められている。中年のアルコール依存症は20~30年間の大量飲酒により発症することが多いのですが、20代のアルコール依存症は、常習飲酒開始から4~5年で問題飲酒者となることが多い。若年層の依存症の方が、中年のアルコール依存症に比べ強い脳の萎縮がみられる。

### ○終戦直後のメチルアルコール中毒

戦時中から戦後数年間は嗜好品であるアルコールの配給が殆どなく、手に入らなかった時代であります。当時メチルアルコールが危険であることを知りながら飲んで、失明したり、死んでいった人が数多くみられ、昭和20年には400名余、昭和21年には1,800名余りが死亡しております。